

令和5年度文部科学省委託

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進」事業

スマートフォン入門

 Android



建築技術者・技能者のIT活用カアップデートのためのリカレント教育推進事業

令和5年度文部科学省委託

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進」事業

スマートフォン入門 (Android)

目次

第1回. 電源の入れ方と用語説明	3
1. 各部の名称と機能.....	4
1) 正面、背面、上下左右画面	4
2) どのような機能なのか.....	6
2. 電源の入れ方/切り方	10
1) 電源ボタン位置の確認.....	10
2) 電源の入れ方	10
3) 電源の切り方	11
3. 画面について	12
1) ロック画面とホーム画面の違い	12
2) ロック画面の解除方法.....	13
4. 用語の説明.....	14
第2回. 文字の入力	15
1. 入力方法	16
1) 文字入力の基本	16
2) 日本語入力の方法.....	21
2. 連絡先を管理します	24
1) 連絡先の登録.....	24
2) 連絡先からの削除と編集.....	26
3. 用語の説明.....	28
第3回. 電話機能の利用	29
1. 電話の掛け方	30
1) 番号を直接入力してかける場合	30
2) 発着信履歴からかける場合	32
3) 電話帳一覧からかける場合	34
4) 通話中画面の機能.....	36
2. 電話の受け方	38
1) 電話がかかってきたとき	38
2) 不在着信履歴	39
3. 音量について	40
1) 通話音量の変更方法	40
2) 着信音の変更方法.....	42
3) マナーモードの設定方法.....	44
4. 用語の説明.....	45
第4回. カメラの機能	46
1. カメラを使う時に気を付けること	47
1) 撮影するときは周りにも配慮しましょう。.....	47
2) プライバシーの侵害、著作権の侵害、肖像権の侵害	47

スマートフォン入門 (Android)

2. 写真を上手に撮る方法	48
1) レンズの位置	48
2) 撮影する際の持ち方	49
3. 写真撮影	50
1) カメラ起動	50
2) 画面の見方	51
3) 撮影方法	54
4. 動画撮影	57
1) 動画への切り替え方	57
2) 画面の見方	58
5. 撮影した写真や動画の確認の仕方	60
1) アルバムの使い方	60
2) 動画の見方	63
3) 保存された写真や動画の削除の仕方	66
6. 用語の説明	68
第5回. QRコード活用	69
1. QRコードとは	70
1) QRコードってなに?	70
2. QRコードの読み取り方	71
3. Youtubeの再生	73
1) QRコードからYouTubeのアドレスにアクセス	73
2) Youtubeの再生	75
3) 観たい動画の検索方法	80
4. 用語の説明	82

第1回. 電源の入れ方と用語説明

この講座では全5回に分けて Android の基礎を学んでいきます。

第1回目は電源の入れ方を学んでいきます。

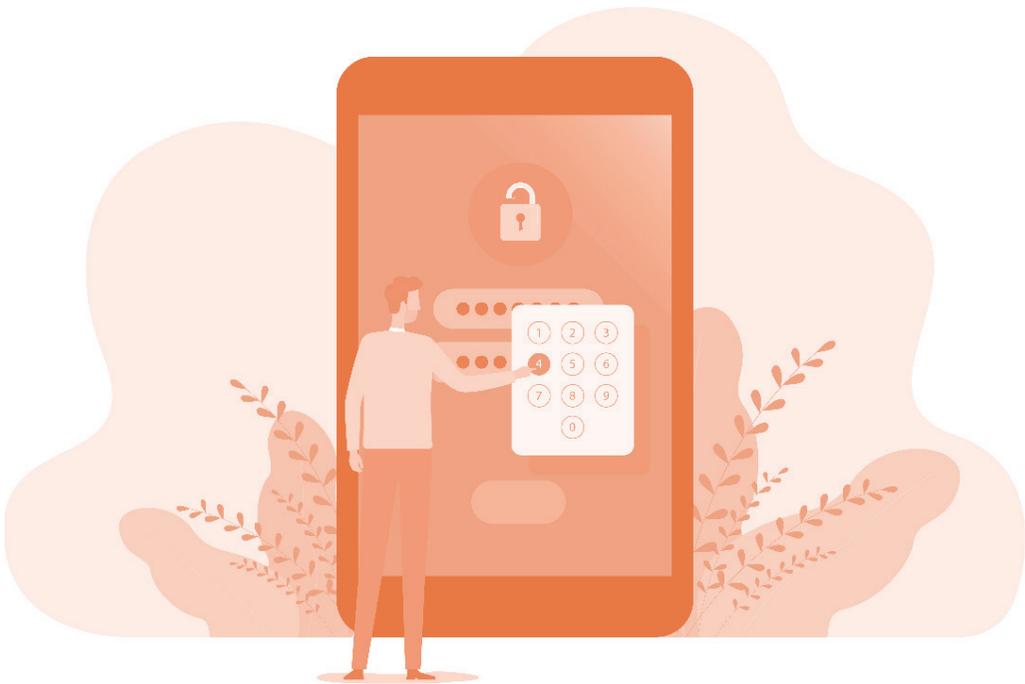
それでは目次を紹介します。

1. 各部の名称と機能
2. 電源の入れ方・切り方
3. 画面について

になります。

最後にスマホ用語集についても一覧があります。

可能であれば、お手元にスマートフォンをご用意ください。



1. 各部の名称と機能

1) 正面、背面、上下左右画面

お持ちのスマートフォンをご確認ください。

(機種によってボタン配置等は異なりますので、例を挙げます)



前面カメラ
スピーカー

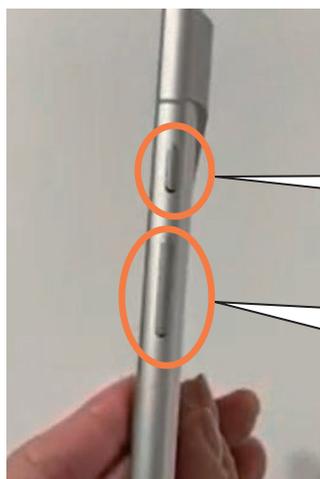
正面には、前面カメラ、スピーカー、
ホームボタンなどがあります。

ホームボタン



背面カメラ
フラッシュ

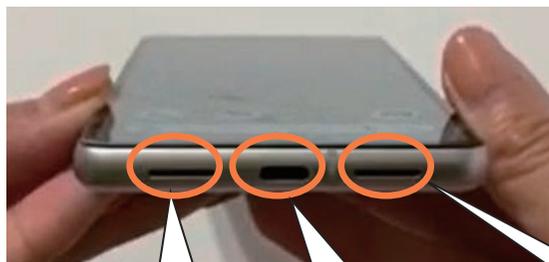
背面カメラ、フラッシュ、スピーカーなど
があります。



側面には、電源ボタン、音量ボタン (+)、音量ボタン (-) があります。

電源ボタン

音量ボタン (+)
音量ボタン (-)



底面には、マイク、充電口
などがあります。

マイク
スピーカー

充電口
イヤホン口

マイク
スピーカー



ちょっとタメになる話☆

Android 端末とは、いろんなメーカーが製造した端末に Android OS を搭載したスマートフォンです。

ボタンの位置などは、メーカーや機種によってデザインがことなります。

画面のデザインも、メーカーや Android のバージョンによっても異なります。お持ちのスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。



2) どのような機能なのか

① 電源ボタン



電源ボタンは、電源を on/off します。
電源が入っていない状態のときは、長押しで電源が入ります。
電源が入っている状態のときは、1度軽く押すと画面が消えますが、電源は入ったままです。
この状態でもう一度軽く押すと、画面が表示されます。

② 音量ボタン



音量ボタン (+)、音量ボタン (-) は、音量の調整をします。
上のボタンを押すと、音が大きくなり、下のボタンを押すと小さくなります。

③ スピーカー



スピーカーは、通話や音楽、動画などの音を出力します。

電話としての機能を使う場合は、イヤホンなどを使わない場合は、上部スピーカーに耳に寄せて使用してください。

スピーカーフォンでご使用になる場合は、下部スピーカーからも音出力されます。

音楽や動画なども同様です。

④ マイク



マイクは、通話やビデオ通話の時に、こちらの音声を相手に伝えます。

通話の場合は、上部スピーカーに耳を寄せて、下部マイクを口に近づけます。

ビデオ通話する場合には、スピーカーフォンにして上部マイクと下部マイクから音声を拾ったり、イヤフォンのマイクを使ったりします。

⑤ 前面カメラ



前面カメラは、スマートフォンの前面にあるモノを撮影します。

ビデオ通話の時には、自分自身を撮影して、相手に動画を送ります。

自分ひとりで、自分の写真を撮る場合にも前面カメラを使用します。

画面に自分自身がどのように映っているか確認しながら、撮影できることが便利です。



観光名所で、外国人が自撮り棒を使って撮影している様子がメディアに取り上げられたりしますが、自撮り棒を使う場合にも前面カメラを使用しています。

⑥ 背面カメラ



背面カメラは、スマートフォンの背面にあるモノを撮影します。

またQRなどのコードを読み込むのにも使用されます。



カメラの機能にもよりますが、0.5倍から10倍くらいのズーム機能が搭載されていたり、連写、アニメーション、ポートレート、パノラマ、動画などの撮影もできます。最近では、写っている人を長押しすると、その人だけを抜きとったり、顔を変えたり、写真の中の文字を簡単に読み取るOCR機能もあります。

⑦ フラッシュ



フラッシュは、写真を撮る際に暗い場所や光が不足している場所で補助的な光源として使用されます。フラッシュを使うことで、被写体を明るく照らしてくれるため、暗い場所でも明るく美しい写真を撮ることができます。また、フラッシュをオフにすることもでき、自然な雰囲気の写真の撮ることができます。

フラッシュの設定方法は、カメラアプリ内で設定を変更することができます。フラッシュは、カメラ撮影時に使用します。

⑧ 充電口



充電口には、充電器やUSBケーブルを接続して、スマートフォンのバッテリーを充電することができます。

充電口の形状は、スマートフォンの種類やモデルによって異なることがありますので、購入した端末の取扱説明書を参照してください。

また、充電口には、イヤホン、USBメモリなども接続することができます。



最近のスマートフォンでは、ワイヤレス充電にも対応しているものがあります。これは、専用の充電パッドにスマートフォンを置くだけで充電ができる便利な機能です。

2. 電源の入れ方/切り方

1) 電源ボタン位置の確認



お持ちのスマートフォンの側面にある電源ボタンの位置を確認してください。

2) 電源の入れ方

お持ちのスマートフォンの側面にある電源ボタンを1秒以上押してください。電源が入ります。



3) 電源の切り方

お持ちのスマートフォンの側面にある電源ボタンを1秒以上押してください。電源が切れます。

また、電源は都度切らなくても問題ありません。必要に応じて切るようにしてください。



3. 画面について

1) ロック画面とホーム画面の違い

スマートフォンの画面にはロック画面とホーム画面があります。
ロック画面は、スマートフォンの電源を入れたときや、画面消灯時に電源ボタンを押したときに表示される画面です。

スマートフォンを第三者に不正利用されたり、個人情報が流出したりするのを防ぐためにパスワードなどを使って画面をロックできます。

ホーム画面は、スマートフォンのロックを解除して最初に表示される画面です。



2) ロック画面の解除方法

暗証番号・スワイプ・画面上の点と点を指でつなぐパターン等があり、使用者ご本人で選択できます。

暗証番号・スワイプ・パターンの設定については別途説明します。

ロック画面を解除後にホーム画面が表示され、スマートフォンが使用できるようになります。



4. 用語の説明

電源ボタン	電源を on/off します
音量ボタン	音量の調整をします。上部を押すと大きく、下部を押すと小さくなります。
スピーカー	音声や音楽が聞こえます。
マイク	通話時やビデオ通話の音声を拾って相手に伝えます。
前面カメラ	スマートフォンの前面にあるモノを撮影します。自撮りに利用します。
背面カメラ	スマートフォンの背面にあるモノを撮影します。風景、人、モノ、QR コードなどを撮影します。
フラッシュ	カメラ撮影時に明るさが足りないときに使用します。カメラアプリで設定ができます。
充電口	充電器やイヤホン、USB メモリなどを差し込んで充電、音楽、データ読み込みなどに使います。
ロック画面	スマートフォンの電源を入れたときや、画面消灯時に電源ボタンを押したときに表示される画面です。スマートフォンを第三者に不正利用されたり、個人情報が流出したりするのを防ぐためにパスワードなどを使って画面をロックできます。
ホーム画面	スマートフォンのロックを解除して最初に表示される画面です。
暗証番号	4 桁以上の数字を組み合わせたコードを使用する方法です。機種によってはロック No などと表記されることもあります。
スワイプ	画面を上下左右に動かします。カギのマークを特定の場所へドラッグするなどの方法が一般的です。
パターン	9 つの点から 4 つ以上を選び、一筆書きで結びます。複雑なパターンに設定すればより安全性が高まります。

第2回. 文字の入力

この講座では、全5回に分けて Android の基礎を学んでいきます。
第2回目は文字の入力を学んでいきます。
それでは目次を紹介します。

1. 入力方法
2. 連絡先を登録する

になります。

最後にスマホ用語集についても一覧があります。

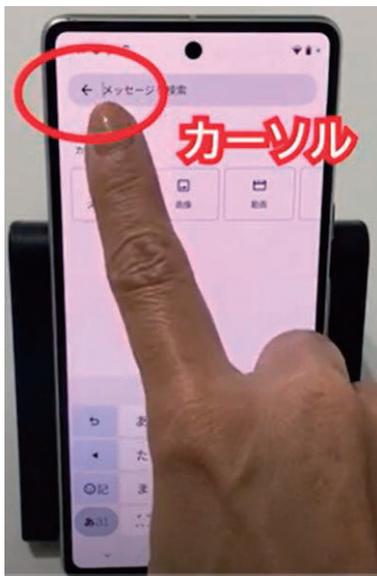
可能であれば、お手元にスマートフォンをご用意ください。



1. 入力方法

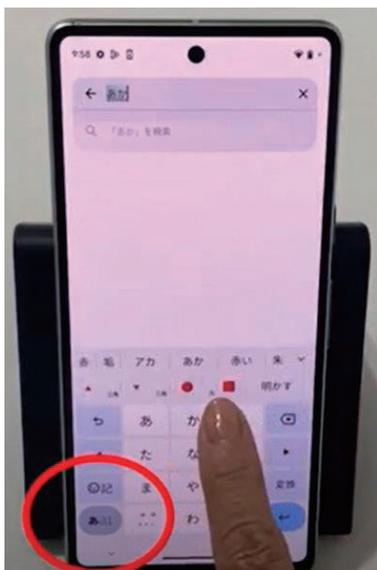
1) 文字入力の基本

入力方法の種類は、ケータイ入力、フリック入力、音声入力があります。



どの入力方法でも共通していることは、入力画面の点滅している縦線がカーソルです。文字の入力位置を示します。

カーソルの右側に文字を入力していきます。



文字盤の左下、または右下に、地球アイコンや記号などのキーがあり、タップすると入力切り替えをします。

入力モードを切り替えることで、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、記号、数字、絵文字などの切り替えを行うことができます。

画面の操作は、主に次に挙げるものがあります。

① タップ



タップは、スマートフォンでの最も基本的な操作です。

指でポンと軽く画面に触れる操作です。

② ダブルタップ



ダブルタップは、2回連続でタップする操作です。

③ ロングタップ



ロングタップは、画面の特定の位置をタップし、そのまましばらく静止する操作です。

④ ピンチイン



ピンチインは、画面上に2本の指を置いて、画面をつまむようにして間隔を狭める動きのことです。

画面の表示小さくなります。

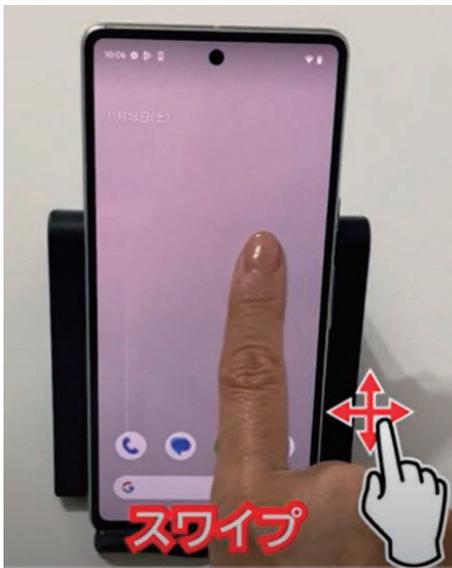
⑤ ピンチアウト



ピンチアウトは、画面上に2本の指を置いて、画面を広げるようにして間隔を空ける動きのことです。

画面の表示が拡大されます。

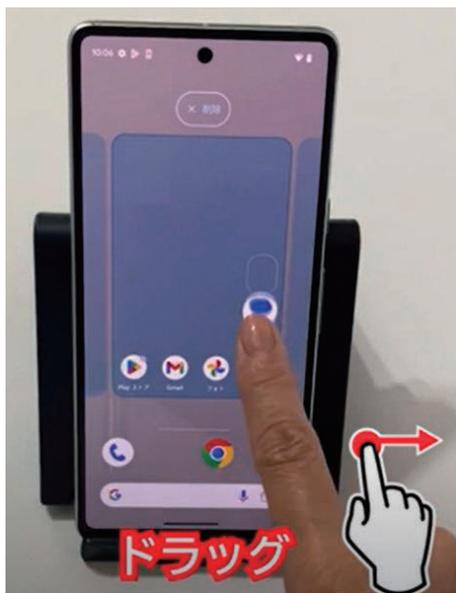
⑥ スワイプ



スワイプは、画面に指が触れた状態で、上下左右に指を大きくスライドさせる操作です。

ロック画面の解除、次ページへ移動するなどスクロールする時に使う操作です。

⑦ ドラッグ



ドラッグは、アプリのアイコンや指定範囲を長押しした後、そのまま指を動かしてアイコンなどを動かす動作です。

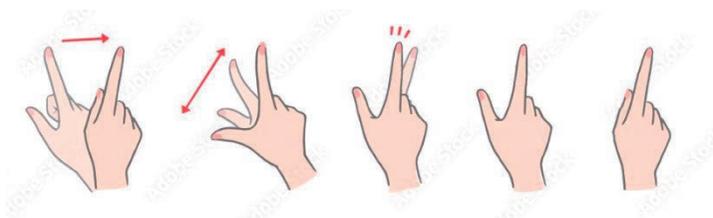


ちょっとタメになる話☆彡

Android 端末では、ほかに3本指を同時にタップしたまま下にドラッグすると、画面のスクリーンショットを撮ることができます。

またスクロールできる画面では、2本指で上に向かってドラッグすると、指を話してもオートスクロールが開始され、停止や速度の変更もできます。

ゲームな
時タップ
両手を使
操作もあ



どでも同
4本など
って行う
ります。

2) 日本語入力の方法

① ケータイ入力



ケータイ入力では、「あ」のキーには、「あ・い・う・え・お」の文字が打てるような仕組みになっており、タップをすることで文字を切り替えます。

間違えた場合は  「バックスペース」キーをタップすると削除できます。

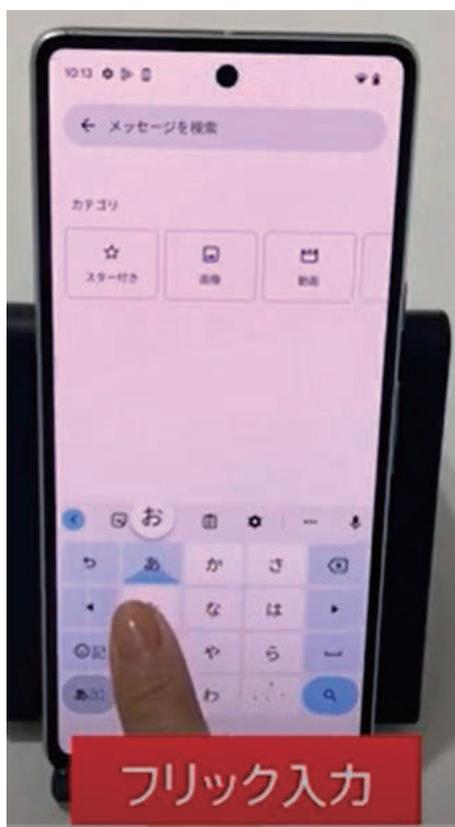
数字を入力したい場合は  「数字」キーをタップします。

ローマ字入力したい場合は  「英字」キーをタップします。



「く」を入力する場合「か」のキーを3回タップすると「く」が出てきます。「た」や「は」でも同様にタップをする回数で、打ちたい文字を呼び出し、文字を入力します。

② フリック入力



フリック入力では、「あ」のキーには、「あ・い・う・え・お」の文字が打てるような仕組みになっており、フリックをすることで文字を切り替えます。



「う」と入力する場合「あ」のキーを長押しします。長押しすると上下左右の4方向に「い・う・え・お」が出るので、「う」であれば上方向にサッと指を払うように画面をなぞれば「う」が入力されます。

③ 音声入力



音声入力では、入力したい言葉や文章を声に出して言うだけで、スマートフォンが聞き取って自動で文字入力します。

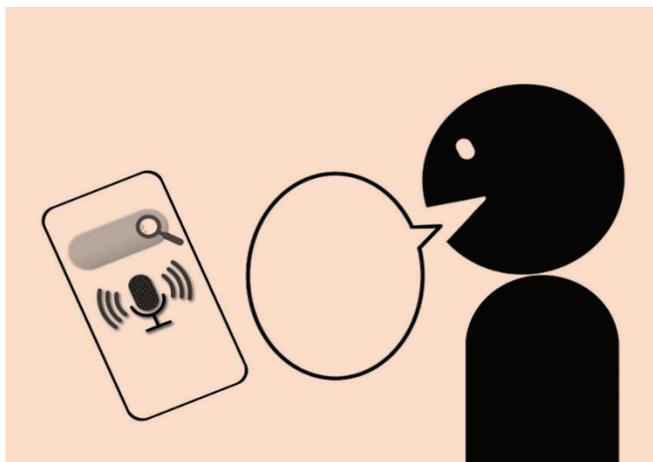
マイクのアイコンをタップすることで聞き取る状態になります。

もう一度マイクのアイコンをタップすると、音声入力を終了します。



「(」や「。」「、」などを入力するときは、「かっこ」「かっことじる」や「マル」「テン」と話す必要があります。

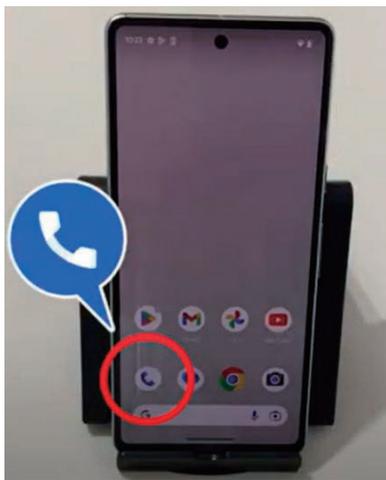
間違えた場合は  「バックスペース」キーをタップすると削除できます。



2. 連絡先を管理します

1) 連絡先の登録

① 連絡先登録画面を表示します。



ホーム画面から電話アプリのアイコンをタップします。

② 「新しい連絡先を作成」を押します

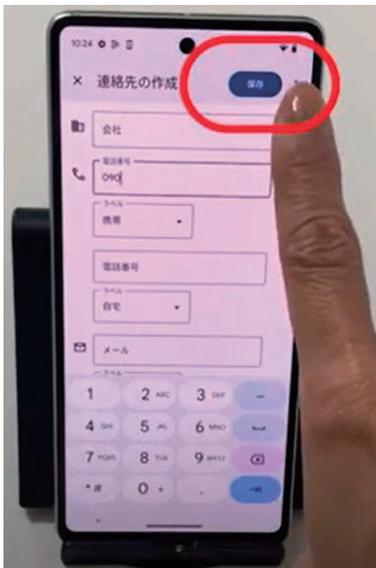


新規登録画面が表示されます。

③ 名前、電話番号など必要な情報を入力します

連絡先の入力画面が表示されるので、名前、電話番号など必要な情報を入力します。

④ 「保存」を押します。



これで連絡先の登録は完了です。



ちょっとタメになる話☆彡

電話がかかってきたり、こちらからかけた通話履歴から連絡先を登録することができます。

- (1) 「電話」アプリを起動し、「履歴」を軽く押す。
- (2) 最近の発着信履歴が表示されるので、登録したい電話番号を軽く押す。
- (3) 「連絡先に追加」を軽く押す。
- (4) 電話番号以外の情報を入力する。

2) 連絡先からの削除と編集

連絡先からの削除と編集については、機種によって操作方法が異なりますので、例を挙げます。

① 連絡先からの削除

連絡先から削除するときは、ホーム画面から電話のアイコンをタップし、表示された登録者の中から削除したい方をタップします。画面右上のメニューボタンをタップし、「削除」が表示されるのでタップします。

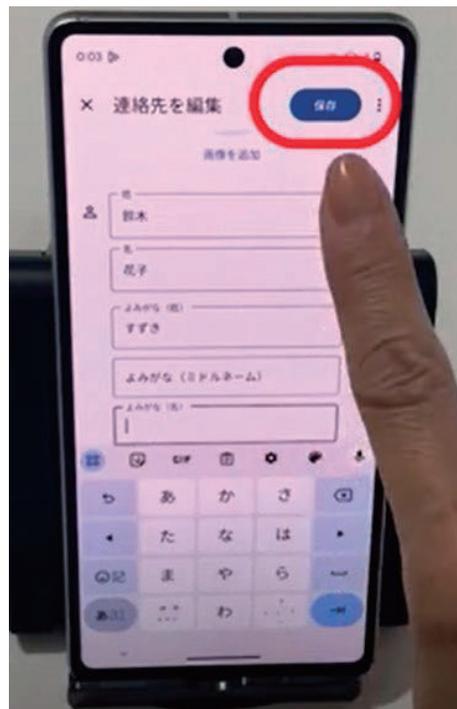
登録されていた方が削除されます。



② 連絡先の編集

連絡先を編集するときは、ホーム画面から電話のアイコンをタップし、表示された登録者の中から編集したい方をタップします。

画面右上の鉛筆マークをタップします。連絡先の入力画面が表示されるので、編集したい項目を入力して保存します。



3. 用語の説明

ケータイ入力	ケータイ入力では、ガラケーの携帯電話のボタンと同じ入力方法を画面でタップすることでできる入力方法です。
フリック入力	フリック入力では、「あ」のキーには、「あ・い・う・え・お」の文字が打てるような仕組みになっており、上下左右にフリックをすることで文字を切り替えます。 「う」と入力する場合「あ」のキーを長押しします。長押しすると上下左右の4方向に「い・う・え・お」が出るので、「う」であれば上方向にフリック（素早く指を払うように画面をなぞる操作）すれば「う」が入力されます。
音声入力	音声入力では、入力したい言葉や文章を声に出して言うだけで、スマートフォンが聞き取って自動で文字入力します。マイクのアイコンをタップすることで聞き取る状態になります。
タップ	スマートフォンでの最も基本的な操作です。指でボタンと軽く画面に触れる操作です。
ダブルタップ	2回連続でタップする操作です。
ロングタップ	画面の特定の位置をタップし、そのまましばらく静止する操作です。
ピンチイン	画面上に2本の指を置いて、画面をつまむようにして間隔を狭める動きのことです。
ピンチアウト	画面上に2本の指を置いて、画面を広げるようにして間隔を空ける動きのことです。
スワイプ	画面に指が触れた状態で、上下左右に指を大きくスライドさせる操作です。
ドラッグ	アプリのアイコンや指定範囲を長押しした後、そのまま指を動かしてアイコンなどを動かす動作です。

第3回. 電話機能の利用

この講座では、全5回に分けて Android の基礎を学んでいきます。
第3回目は文電話機能の利用方法を学んでいきます。
それでは目次を紹介します。

1. 電話の掛け方
2. 電話の受け方
3. 音量について

になります。

最後にスマホ用語集についても一覧があります。

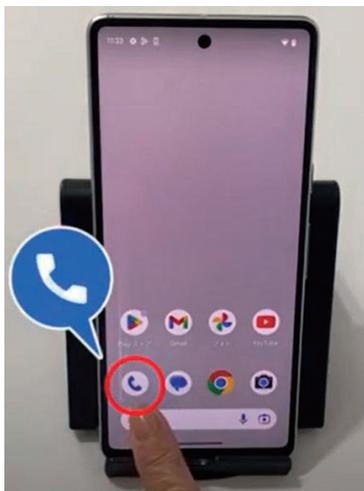
可能であれば、お手元にスマートフォンをご用意ください。



1. 電話の掛け方

1) 番号を直接入力してかける場合

- ① ホーム画面の受話器アイコンをタップします。



電話のアイコンは、左記のような固定電話の受話器をイメージしたデザインです。

たいていの場合、ホーム画面に表示されています。

- ② ダイヤルキーを押して電話番号を入力します。



電話番号を入力する際は、「-」は不要です。プッシュボタンの電話と同様に市外局番から入力してください。

- ③ 入力が終わったら受話器アイコンをタップします。



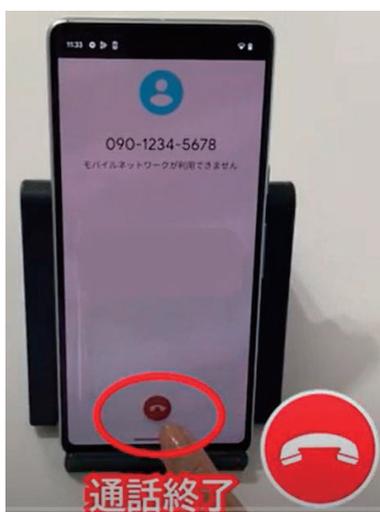
通話開始ボタンをタップすると、電話のコール音が聞こえます。

もし、コール音が聞こえない場合は電波が入っていないか、通信ができない状態にあります。

電波のアンテナが立っているか確認してから、再度試みてください。

- ④ 相手が受電したら通話を開始できます。

- ⑤ 通話を終了するときは終了ボタンを押します。



通話が長いと、ロック画面になることがあります。

その場合においても同様の通話終了のアイコンが表示されていますので、タップして通話を終了してください。

2) 発着信履歴からかける場合

電話をかけた場合、電話がかかってきた場合、発着信履歴が残ります。

その発着信履歴から電話をかけることができます。

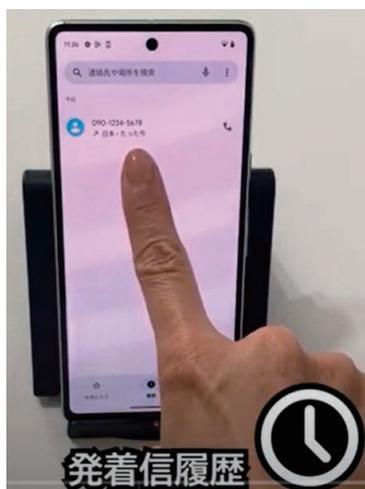
発着信履歴から電話する場合、電話番号を入力することなく簡単に電話をかけることができます。

① ホーム画面の受話器アイコンをタップします



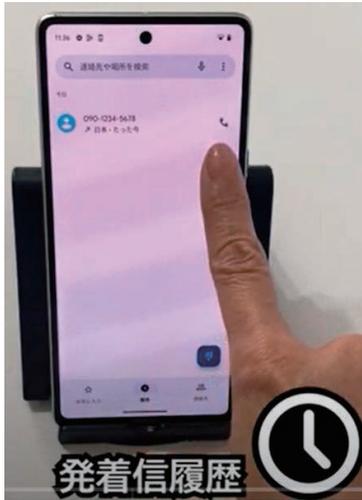
発着信履歴が表示されます。

② 通話履歴の中が表示されます



通話履歴の中から電話をかけたい人を選んでタップします。

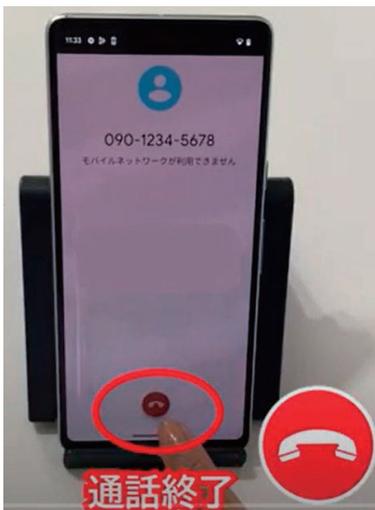
③ 電話をかけたい相手の右側にある受話器アイコンをタップします



コール音が鳴って、相手がつながれば通話を開始できます。

コール音が鳴らない場合は、電波の状態を確認してから、再度電話をかけなおしてください。

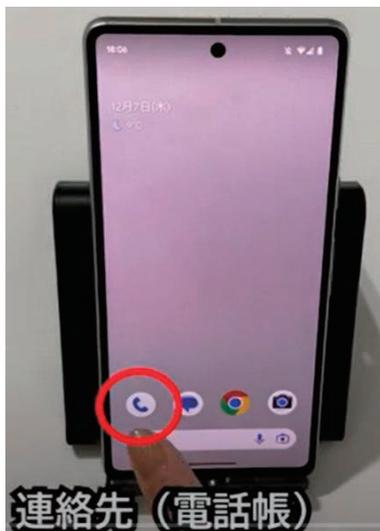
④ 通話を終了する



通話を終了する場合は、終了ボタンをタップします。

3) 電話帳一覧からかける場合

① 電話帳を表示する



ホーム画面から連絡先のアイコンを選択、タップします。

② 電話をかけたい相手を選択する。

連絡先一覧（電話帳）が表示されるので、電話を掛けたい相手をタップします。



③ 電話をかける



電話番号欄もしくは受話器アイコンをタップし発信します。



4) 通話中画面の機能

① ミュート



ミュートは、自分の声が相手に聞こえなくなりますが、相手の声は自分には聞こえ続けます。

外出先での騒音などで、相手に迷惑をかけたくないときに役立ちます。

いったん保留にしたい場合にも役立ちます。

② ダイヤルキー



ダイヤルキーは、通話中に番号を入力できます。

音声ガイダンスの番号入力に回答するときなどに使います。

ダイヤルキーアイコンをタップすると数字を入力できる画面が表示されます。

③ スピーカーフォン (ハンズフリー)



スピーカーは、スマートフォンを耳に当てなくても相手の音声が聞こえるようになります。家事の最中など、手を使わずに通話したい場面で役立ちますが、周囲に会話が聞こえる状態になるため注意が必要です。

④ 終了ボタン

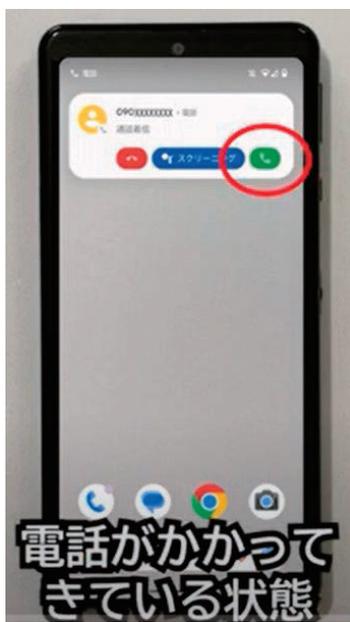


終了ボタンは、通話を終了するときに押します。

2. 電話の受け方

1) 電話がかかってきたとき

① 電話に出る



着信時の画面に受話器アイコンをタップまたはスワイプします。

② 通話中の画面



通話中の画面に切り替わります。

※通話中もスピーカフォン（ハンズフリー）の状態にて、スマートフォンの操作することは可能です。

③ 通話終了



通話を終了するときは、「終了」ボタンを押します。

2) 不在着信履歴

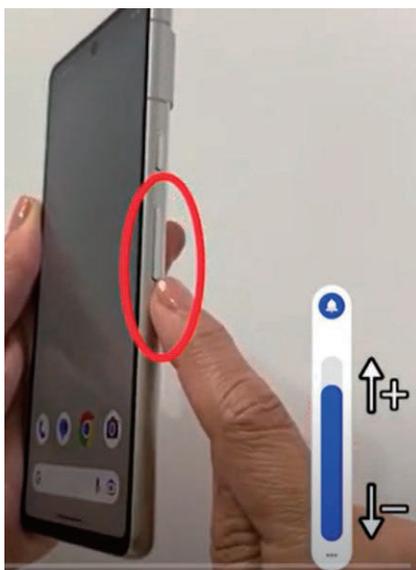


電話に出られなかった場合は、ホーム画面に「着信がありました」などの表示がありますので、それをタップします。

発着信履歴が表示されますので、電話をかけてきた人、時刻を確認できます。

3. 音量について

1) 通話音量の変更方法



通話中に音量を変更したい場合は、スマートフォンの側面にある音量ボタンを押します。

機種によってボタン配置は異なるので、お持ちのスマートフォンを確認してください。

① 音量を上げる



音量を上げる場合は「+」を押します。

② 音量を下げる



音量を下げる場合は－を押します。
音量ボタンを押すと、音量レベルは画面に表示されます。

③ スピーカーフォンに切り替える



スピーカーは、スマートフォンを耳に当てなくても相手の音声が聞こえるようになります。家事の最中など、手を使わずに通話したい場面で役立ちますが、周囲に会話が聞こえる状態になるため注意が必要です。

2) 着信音の変更方法

① 設定画面を表示します。



ホーム画面の設定アイコンをタップします。

② 音設定画面を表示し、音を選択します。



設定画面の中にある「音設定」から変更できます。

③ 音量調整をします。



変更したい音量のバーを調節し、音量を調整できます。



スマートフォンの着信音は、バス、電車や飛行機など交通機関や美術館・博物館など、ほかの方の迷惑になるため注意する必要があります。



3) マナーモードの設定方法

マナーモードは、スマートフォンの着信音や通知音を制御する設定のひとつです。

例えば、バス、電車、図書館など公共の場所を利用するときに使用します。マナーモードは消音機能の総称なので、機種やメーカーによっては異なる呼び方もあります。

調節できる音の種類は、着信音、通話音、アラーム音、メディア音です。

マナーモードには主にミュートとバイブレーションがあります。

ミュートは、着信や通知音がなく、振動もない設定のことです。

バイブレーションは、着信や通知音はならさずに、振動で知らせてくれる設定のことです。



4. 用語の説明

ミュート (電話の掛け方)	自分の声が相手に聞こえなくなりますが、相手の声は自分には聞こえます。外出先での騒音などで、相手に迷惑をかけたくないときに役立ちます。
スピーカーフォン (ハンズフリー)	スマートフォンを耳に当てなくても相手の音声がかきこえるようになります。 家事の最中など、手を使わずに通話したい場面で役立ちますが、周囲に会話が聞こえる状態になるため注意が必要です。
マナーモード	スマートフォンの着信音や通知音を制御する設定のひとつです。
ミュート (マナーモード)	着信や通知音がなく、振動もない設定のことです。
バイブレーション	着信や通知音はならさずに、振動で知らせてくれる設定のことです。

第4回. カメラの機能

この講座では全5回に分けて Android の基礎を学んでいきます。

第4回目はカメラの機能を学んでいきます。

それでは目次を紹介します。

1. カメラを使うときに気を付けること
2. 写真を上手に撮る方法
3. 写真撮影
4. 動画撮影
5. 撮影した写真や動画の確認の仕方
6. 保存された写真や動画の削除の仕方

になります。

最後にスマホ用語集についても一覧があります。

可能であれば、お手元にスマートフォンをご用意ください。



1. カメラを使う時に気を付けること

1) 撮影するときは周りにも配慮しましょう。

公衆に著しく迷惑をかける行動をした場合、法律や条例に従って処罰されることもあります。マナーを守りましょう。

2) プライバシーの侵害、著作権の侵害、肖像権の侵害

本のページの撮影や撮影禁止のコンサートを撮影したものを広めると「著作権の侵害」に当たる可能性もあるので確認しましょう。

実演、展示物、観光地など、場所によって撮影や録画が禁止されている場合があるので確認しましょう。

他の人を撮影するときは許可を取りましょう。「肖像権の侵害」や「プライバシーの侵害」に当たる可能性があります。



2. 写真を上手に撮る方法

1) レンズの位置

背面側と正面側にあるカメラの位置を確認しましょう。

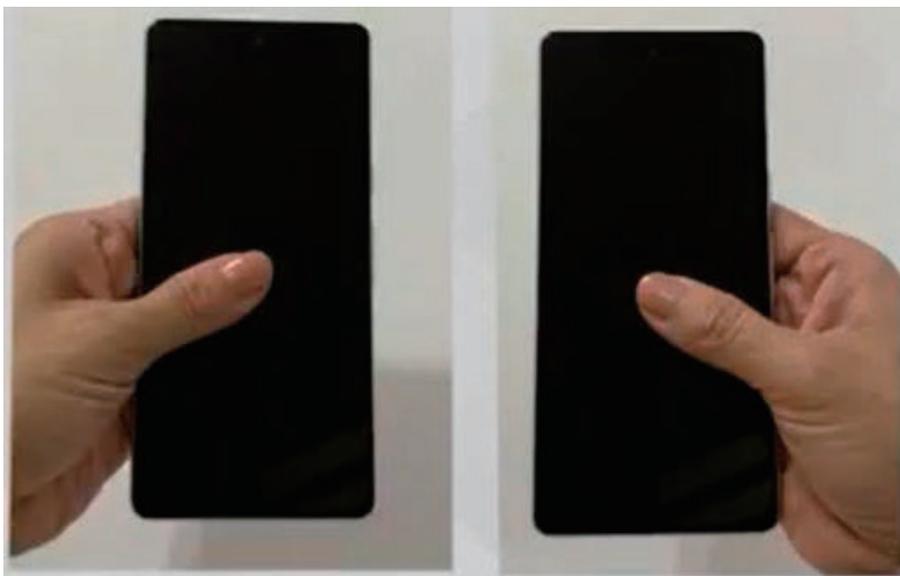


レンズは指紋や埃で汚れるので布で拭きましょう。汚れたままだとボヤけた写真になります。

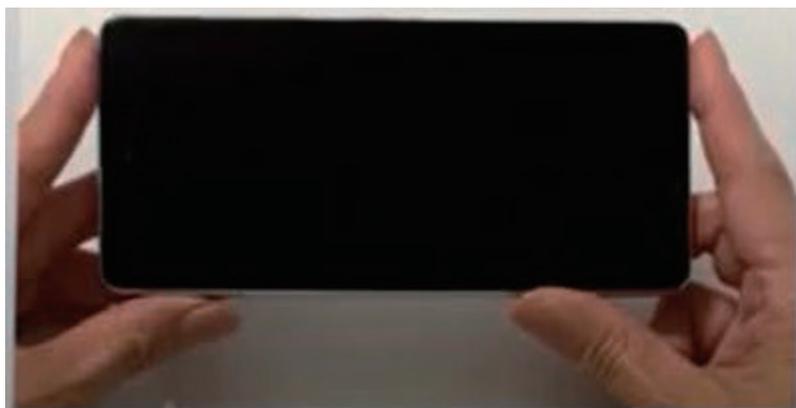


2) 撮影する際の持ち方

指がレンズに重ならないように注意しましょう。



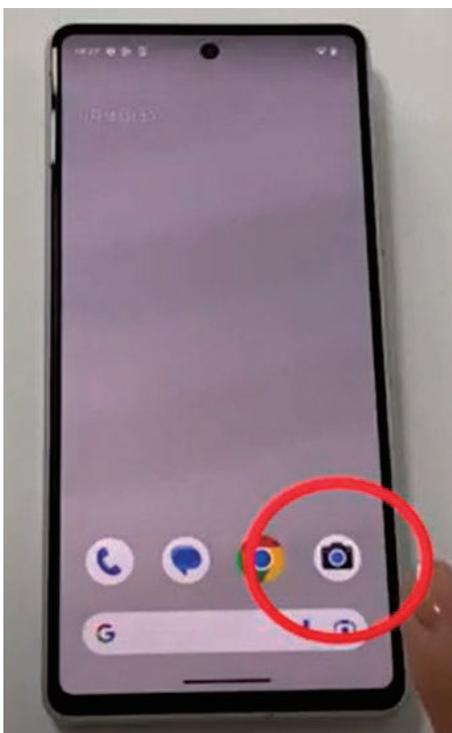
横向きの場合、側面のフチを持つようにしましょう。



3. 写真撮影

1) カメラ起動

ホーム画面にあるカメラアイコンをタップしカメラを起動します。
ロック画面にカメラアイコンがある機種はそのカメラアイコンをダブル
タップすると起動します。



2) 画面の見方

① 照準 (ピント)



画面中央の枠は照準です。カメラのピントが合っているところを示しています。

照準を合わせたいモノや人の顔などをタップすると、その場所に照準を合わせてくれます。

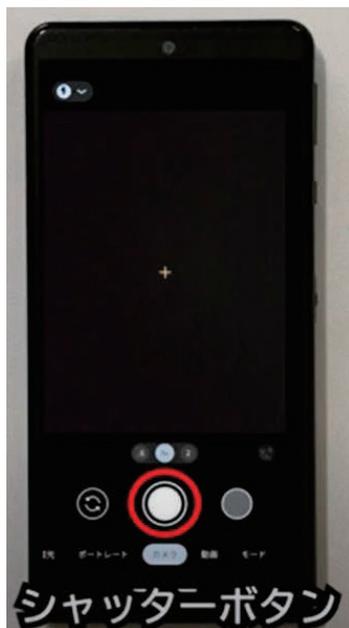
② フラッシュ



画面左上のイナズマのマークはフラッシュです。フラッシュの設定をします。

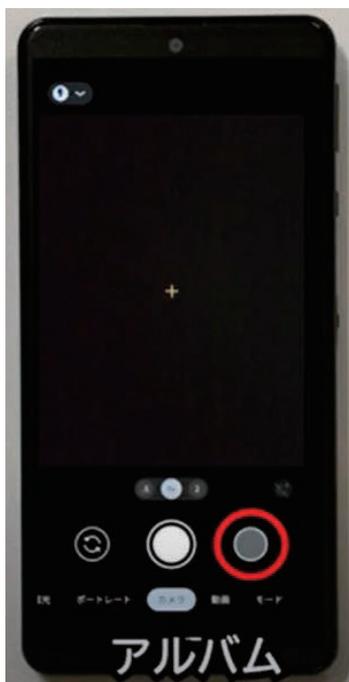
フラッシュ機能は、暗い場所で明るく撮影ができる機能です。フラッシュアイコンをタップし設定します。

③ シャッターボタン



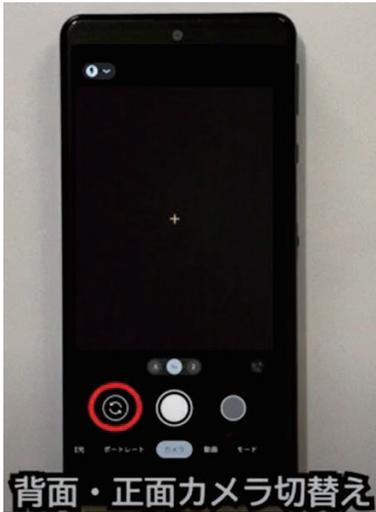
画面下、中央の丸ボタンはシャッターボタンです。タップすると写真を撮影できます。

④ アルバムボタン



シャッターボタンの右隣にあるボタンは、アルバムのボタンです。今まで撮った写真や、動画を見ることができます。

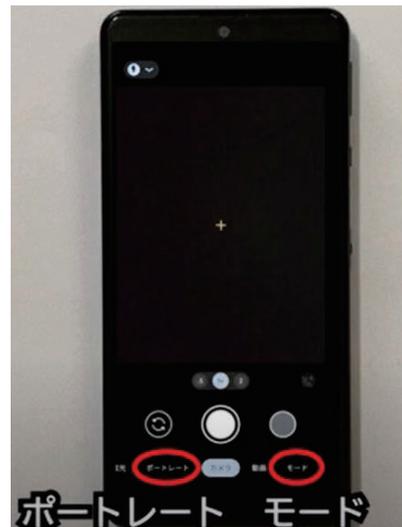
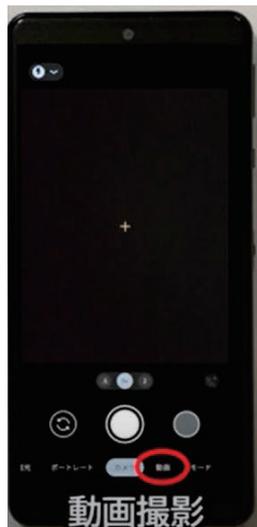
⑤ 背面カメラ、正面カメラの切り替えボタン



シャッターボタンの左隣にあるボタンは、背面カメラ、正面カメラの切り替えボタンです。

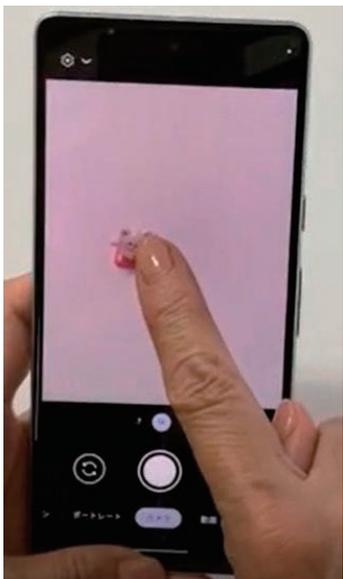
⑥ 撮影種類、モード選択

シャッターボタンの下に、撮影種類、モード選択があります。カメラボタンを選択すると写真撮影、動画ボタンを選択すると動画撮影ができます。夜景モードやポートレートなど様々なモードでも撮影できます。



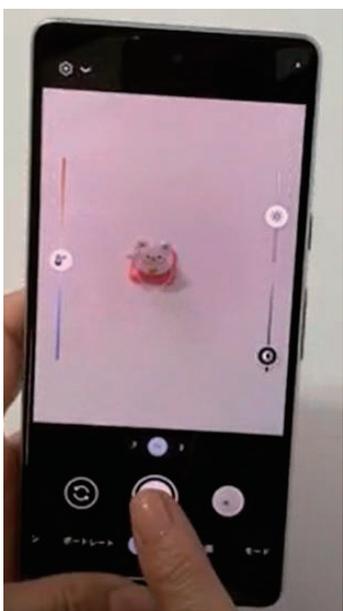
3) 撮影方法

① 照準 (ピント) を合わせ方



照準 (ピント) を合わせたい場所をタップします

② シャッターボタン



シャッターボタンをタップします

③ 正面カメラの撮影



正面のカメラと背面のカメラを切り替えるアイコンをタップする度に、正面、背面のカメラが切り替わります。

自分自身が画面に映し出されると、正面カメラが有効になっています。この状態でシャッターボタンをタップすると自撮りすることができます。

④ カメラを横にすると広角な風景も撮影できます。



⑤ ズーム機能

ズーム機能は、拡大や縮小をして撮影ができる機能です。



ズームインは、撮影対象を拡大します。画面の上に指を2本置いて広げる動作をします。

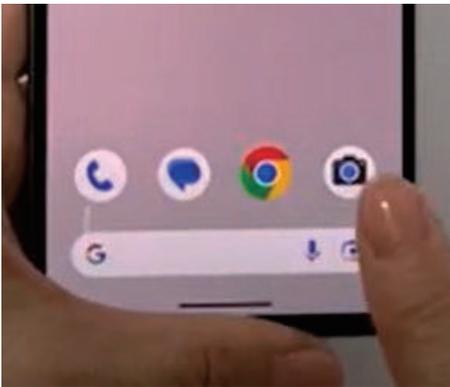


ズームアウトは、撮影対象を縮小します。画面の上に指を2本置いて狭める動作をします。

4. 動画撮影

1) 動画への切り替え方

① ホーム画面のカメラアイコンをタップしましょう。



② 動画撮影モードに切り替えます

写真撮影画面が表示されます。シャッターボタンの横にあるビデオアイコンまたは動画ボタンをタップすると動画撮影ができるようになります。REC■ボタンが表示されたら動画撮影モードになっています。



2) 画面の見方

① 照準 (ピント)



画面中央の枠は照準です。ピントが合っているところを示しています。任意の場所にピントを合わせたい場合は、指でタップするとそこに照準の枠が移動します。

② 撮影・停止ボタン



画面下、中央の丸ボタンは動画の撮影・停止ボタンです。撮影が完了し、保存されます。

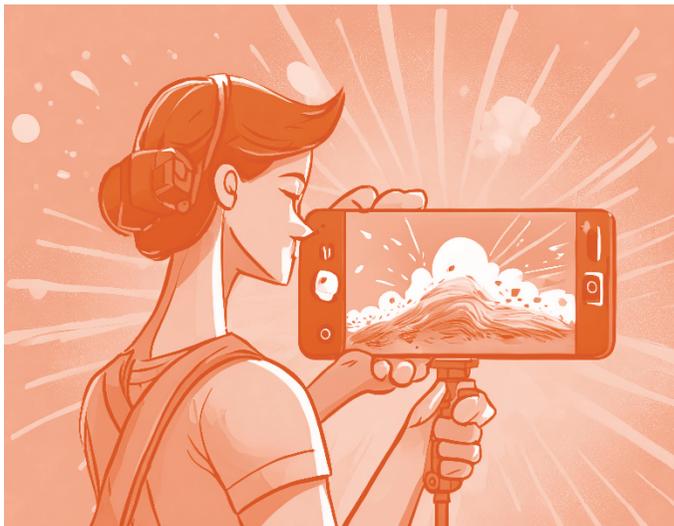
③ 動画撮影中に静止画 (写真) 撮影



シャッターボタンの右隣の白色の丸ボタンを動画の撮影中にタップすると、静止画を撮影できます。



ビデオの撮影には、脚立や自撮り棒などをつかうと手振れのない動画が撮影できます。



5. 撮影した写真や動画の確認の仕方

1) アルバムの使い方

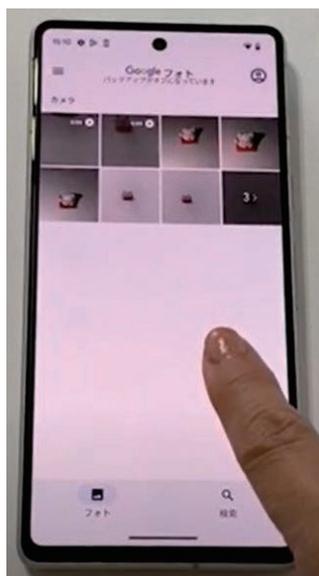
① ホーム画面のアルバムをタップしましょう。



ホーム画面の1画面目にあるとは限らないため見つからない場合には、右から左へフリックして次の画面も確認してください。

前の画面に戻る場合は、左から右にフリックしてください。

② 写真や動画の一覧が表示されます。



写真がたくさんある場合には縦にスクロールします。

下から上にフリックすると、画面がスクロールして下にある写真を表示することができます。

上に戻りたい場合は、上から下にフリックすると、画面が上にスクロールします。

③ 見たい写真、動画をタップしましょう。

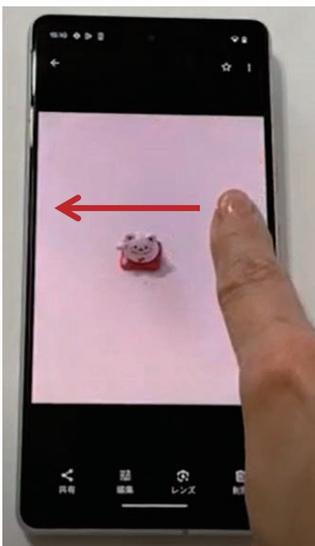


写真の場合は、タップした写真を画面に表示します。

動画の場合は、動画の再生画面が表示されます。

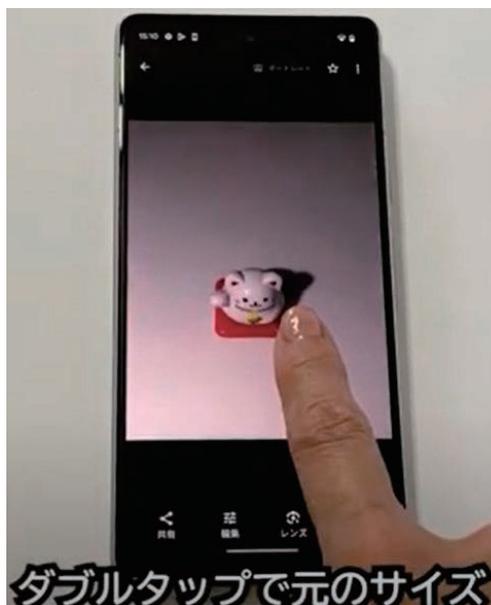
共有（メールや SNS へアップ）することもできます。

④ タップした写真、動画が大きく表示されます。



左右にフリックすると、写真をスライドすることができ、前後に撮影した写真が表示されます。

- ⑤ 写真はタップで拡大、ダブルタップで元のサイズになります。



ちょっとタメになる話☆彡

ガラケーでは撮影した写真は、USB ケーブルで PC と接続して転送をしてバックアップを残していました。

転送時間もかなりの時間がかかったのではありませんか？

Google フォトを利用すると、スマートフォンで撮影した写真は、オンラインのクラウドストレージに保管されるため、一元管理され、PC やほかの端末からアクセスして閲覧・保存できます。

2) 動画の見方

① 動画の再生



再生ボタンは、動画を再生します。

一時停止ボタンは、動画を一時停止します。

② シークバー



シークバーは、音楽・動画再生ソフトなどに備わる機能のひとつで、データの再生箇所を表示する機能のことです。

③ 戻るボタン



画面左上の左向き矢印ボタンは、戻るボタンです。

④ 共有ボタン



共有ボタンは、動画を他の人に共有できます。
共有ボタンをタップすると、スマートフォンに入っている、共有ができるアプリ（メール、クラウドサービス、SNS アプリ）の選択が表示されます。
これらのアプリを使って送信できます。

⑤ 全画面切り替えボタン

全画面切り替えボタンは、画面いっぱいに動画を表示させます。

⑥ メニューボタン



メニューボタンは、カメラのクイック起動や解像度などを設定画面を表示します。

3) 保存された写真や動画の削除の仕方

① アルバムから削除



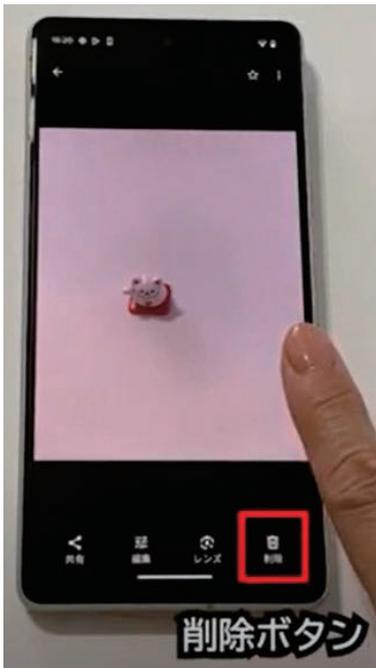
ホーム画面のアルバムをタップしましょう。

② 写真や動画の一覧を表示



消したい写真、動画をタップします。

③ 選択した写真、動画を削除



タップした写真または動画が大きく表示されます。

写真、動画を確認した後、メニュー内、または右下のゴミ箱アイコンをタップします。

④ 確認画面



「削除しますか?」と表示されますので「はい」をタップしましょう。

削除した写真、動画は復元できないため注意して削除するようにしましょう。

これで、撮影した写真や動画の削除は完了です。

6. 用語の説明

正面カメラ	現行モデルのスマートフォンは、その多くが2台のカメラを搭載しています。1台は背面に、もう1台は正面にあります。 そのうち正面の、手前方向を撮影するカメラがで、ビデオ通話や自撮りが主な目的です。
背面カメラ	スマートフォンの背面にあるカメラです。風景や人物の撮影が主な目的です。
ズームイン	撮影対象を拡大します。画面の上で指2本を広げる動作をします。
ズームアウト	撮影対象を縮小します。画面の上で指2本を狭める動作をします。
シークバー	音楽・動画再生ソフトなどに備わる機能のひとつで、データの再生箇所を表示する機能のことです。

第5回. QR コード活用

この講座では全5回に分けて Android の基礎を学んでいきます。
第5回目は QR コードの活用を学んでいきます。
それでは目次を紹介します。

1. QR コードとは
2. QR コードの読み取り方
3. Youtube の再生

になります。

最後にスマホ用語集についても一覧があります。

可能であれば、お手元にスマートフォンをご用意ください。



1. QR コードとは

1) QR コードってなに？

文字などの情報を図形化しスマートフォンやリーダーなどの機械で読み取りやすくしたものです。

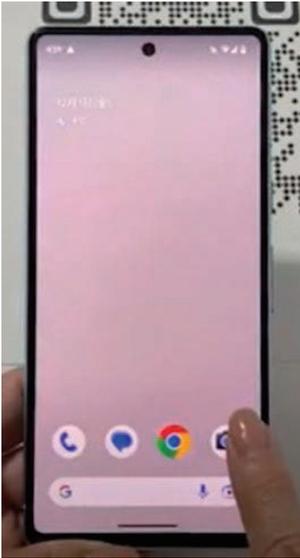
見たいホームページがあってもホームページのアドレスを1文字ずつ入力するのは大変ですよね。

QR コードがあればカメラを向けて読み込むだけで、ホームページのアドレスが自動的に入力されるので、見たいホームページにも簡単にアクセスができます。



2. QR コードの読み取り方

① 標準カメラで QR コードを読み取り



ホーム画面のカメラアプリをタップします。



QR コードを読み取るアプリやサービスから読み取るときなどは、アプリの操作説明を参照ください。

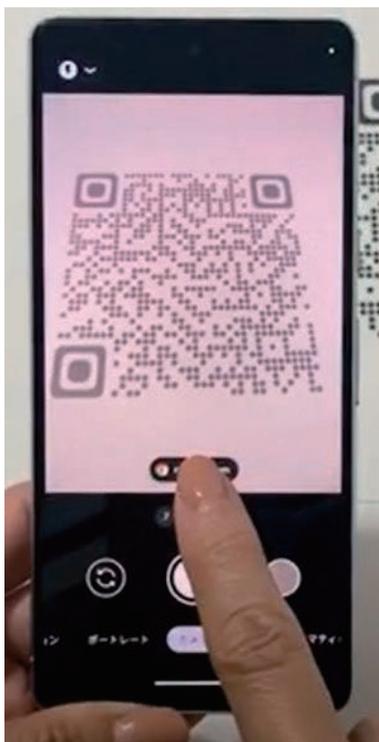
② QR コードを画面に表示する



前頁の QR コードを実際に読み込んでみましょう。

QR コードを枠内に表示し、ピントを合わせます。

③ 結果をタップ



読み込みが成功すると、結果が下部に表示されます。

読み取った結果をタップします。



Web サイトの URL であればブラウザアプリが起動して、リンク先を表示します。

メールアドレスであれば、メール送信アプリが起動します。

SNS や連絡先の場合は、該当のアプリが起動して、連絡先の登録が可能になります。

④ 読み取ったホームページが表示されます。

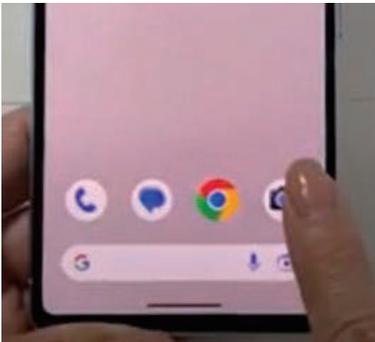


Android 9 以降は、標準カメラで読み取れる機能がありますが、スマートフォンによっては Android 9 以降に更新できない場合もあり、標準ではないものはバーコードリーダーのアプリをインストールする必要があります。

3. Youtube の再生

1) QR コードから YouTube のアドレスにアクセス

① カメラアプリを起動



ホーム画面のカメラアプリをタップします。

② QR コードを画面に表示する



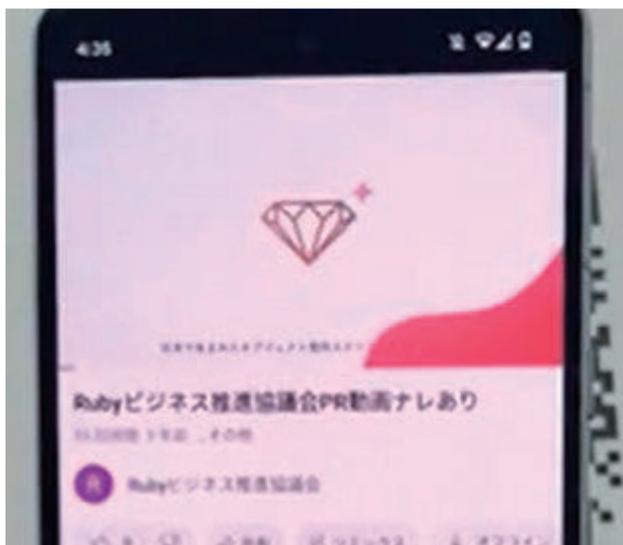
QR コードを枠内に表示し、ピントを合わせます。

③ 結果をタップ



読み取り結果に YouTube のリンクが表示されるのでタップします。

④ YouTube の画面が表示されます。



2) Youtube の再生

① 設定を変えたいとき



右上の歯車マークをタップします。

画質、字幕、再生速度をゆっくりしたり速くしたりなど、より動画を自分好みに見やすく設定することができます。



② 再生／一時停止



画面中央をタップすると、動画が一時停止され、もう一度タップすると再生されます。

③ 全画面の表示



画面右下の四角枠をタップすると、動画がスマホサイズの全画面表示となり、より見やすくなります。

④ シークバー



赤いマークを押しながら右に動かすと、動画を早送りすることができ、左に動かすと戻すことができます。



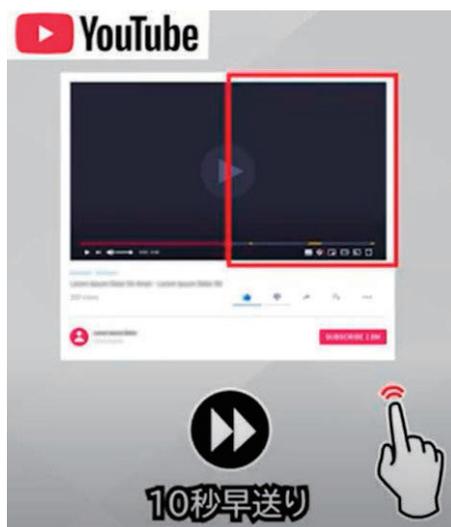
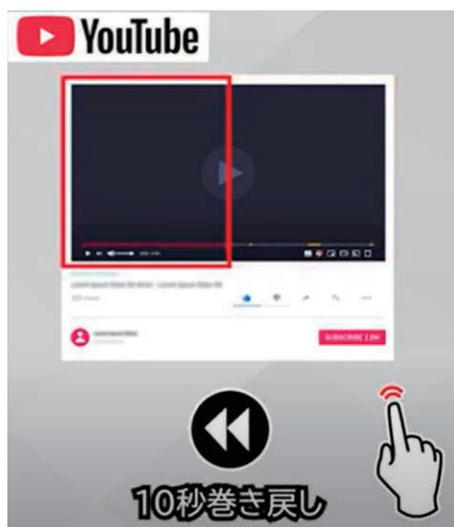
動画を見ているときに、「話した内容が聞こえなかった」「気づかず見逃した」「先が知りたい」と感じたことはありませんか？

そんなときに活用したいのが「早送りと巻き戻し」機能です。ビデオと同じく YouTube にもこの機能があるので活用しましょう。



⑤ 早送りと巻き戻し

早送りと巻き戻しは、再生中の画面を2回続けてタップします。
画面中央より右半分をタップすると10秒早送り、左半分をタップすると10秒巻き戻しです。



この操作を、3回繰り返せば30秒早送り、または30秒巻き戻しとなります。もっと長い時間移動させたいときは、時間経過を表すシークバーを使うのが簡単です





YouTubeの自動再生とは、YouTubeで動画を視聴したときに、自動的に選択された関連動画が次々と再生される機能のことです。

この自動再生機能は、簡単な設定方法でデバイスごとにオン/オフを切り替えられます。

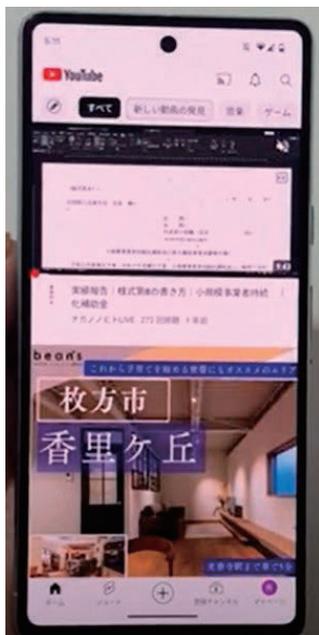
⑥ 自動再生をオフにする



動画を選択して再生し、一時停止にします。その際、全画面表示はしないでください。再生画面に「自動再生」ボタンが表示されるのでタップします。これで、自動再生機能は「オフ」になりました。

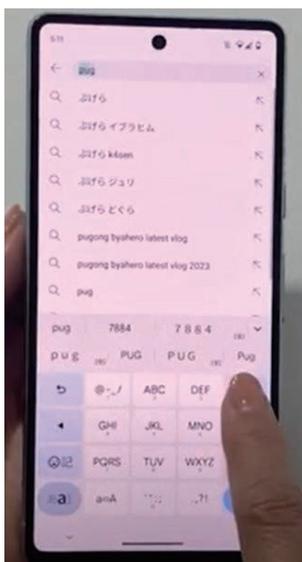
3) 観たい動画の検索方法

① 虫メガネのアイコン



ホーム画面が映ったら、右上にある虫メガネのアイコンをタップします。

② 検索画面でキーワードを打ち込む



見たい動画を探すため、キーワードを打ち込むスペースがあります。好きな俳優やアーティスト名、自分の趣味などを打ち込むとヒットしやすいです。

③ エンターキーをタップする



検索したキーワードに関連する動画が表示されます。

フリックで上下へ移動できます。

数々の動画が表示されます。気になった動画をタップすると再生が始まります。



ちょっとタメになる話☆彡

動画が再生されると、関連する動画が再生候補として再生画面の下に表示されます。動画が再生されると、その候補動画が次々再生されます。

気に入った動画などがあれば、「いいね」ボタンをタップしたり、チャンネル登録することもできます。

チャンネル登録すると、その動画の作成者が新しい動画をアップしたりすると通知が来たり、毎回検索せずとも登録チャンネルから再生リストから視聴することが可能になります。

4. 用語の説明

QR コード	文字などの情報を図形化し、スマートフォンやリーダーなどの機械で読み取りやすくしたものです。
Youtube	動画の投稿・閲覧ともに原則として無料で利用できる、動画配信サービスです。。
シークバー	音楽・動画再生ソフトなどに備わる機能のひとつで、データの再生箇所を表示する機能のことです。

お疲れ様でした。

以上で、スマートフォン入門 (Android) についての学習は終わりです。

AirPods、AirTag、Apple、Apple のロゴ、Apple Pay、Apple Watch、FaceTime、GarageBand、HomePod、iMovie、iPad、iPhone、iPhoto、iSight、iTunes、QuickTime、QuickTime のロゴ、Retina、Safari、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。App Store、AppleCare、iCloud は、Apple Inc. のサービスマークです。

TM and © 2021 Apple Inc. All rights reserved.

Android、Android ロゴ、BigQuery、Chromecast、Cloud Search、Gmail、Google、Google ロゴ、Google アシスタント、Google カレンダー、Google Chat、Google Chrome、Google Cloud、Google Cloud ロゴ、Google Currents、Google ドキュメント、Google ドライブ、ビジネス向け Google グループ、Google Home、Google Home ロゴ、Google Home Mini、Google Home Mini ロゴ、Google ハングアウト、Google Keep、Google マップ、Google Meet、Google Nest Mini、Google Nest Mini ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Google Play Music、Google Play Music ロゴ、Google+、Google スプレッドシート、Google サイト、Google スライド、Google Vault、Google Workspace、G Suite、Looker、Looker Studio、YouTube、YouTube ロゴは、Google LLC の商標です。

「Wi-Fi」、「Wi-Fi CERTIFIED Miracast™」、「Miracast™」、「Wi-Fi/Wi-Fi 6」は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。

QR コードはデンソー株式会社の登録商標です。

その他会社名、各製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

令和5年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」
建築技術者・技能者のIT活用カアップデートのためのリカレント教育推進事業

スマートフォン入門（Android）

令和6年3月

学校法人福田学園 大阪工業技術専門学校
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目8-24 電話：06-6352-0091

●本書の内容を無断で転記、掲載することは禁じます。